

【高等学校の部 最優秀賞】

「育つ過程の大切なもの」

天理高等学校第二部 1年 端無 雪乃

私は小さい頃、ピーマンがあまり好きではなく、ピーマンの天ぷらなどが夕食に出た時は、それだけ食べずに、他の天ぷらばかり食べていました。でも、お母さんが作ってくれたピーマンの肉詰めがピーマンが美味しいと思える様になり、ピーマンが好きになりました。そんな私は、親が共働きなのもあって、夕食を作ることが多くなりました。カレーやうどん、親子丼など作れる物が増えていきました。親や兄弟は、私が作ったものを「おいしい」と言いながら食べてくれたり、「ありがとう」と言ってくれたりしました。私はそれがとてもうれしくて、もっと努力して作れる料理を増やしました。私は育つ過程の中で料理に教えてもらった事がたくさんあります。食事を作る大変さや楽しさ、人に感謝される喜び、もっと頑張ろうと思える気持ちも、料理から知れた事だと思います。私の目標は、自分の店を開くことです。私が作る料理が、みんなを幸せにできる様、頑張りたいです。